

AED N@VI 利用規約 団体サポーター管理システム

(目的)

1. AED N@VI の団体サポーター管理システム（以下「本システム」という）は、日本 AED 財団（以下「財団」という。）が承認し、規約に同意した上で AED N@VI の取り組みに団体として協力している組織（以下「団体サポーター」という。）及び、そこに所属するボランティア（以下「サポーター」という。）の管理を支援するシステムです。団体サポーターに所属するサポーターの管理支援を通じ、より多く精度の高い AED 設置情報を収集することで、院外心停止症例の救命率向上へ寄与することを目的とします。

(運用管理等)

2. 本サービスは、財団が管理者として運用管理します。

(本システムの機能)

3. 本システムは、団体サポーターが、自団体に所属するサポーターの登録・管理と AED 設置情報の登録・変更を行うことができるウェブサービスです。
4. 団体サポーターは、本システムを通じて配布される登録用ウェブページによって、団体に帰属するサポーターとして、本システムに登録することができます。
5. 本システムを通じ、登録されたサポーターの活動状況の確認や、アカウントの無効化を実施できます。
6. 本システムによって、団体サポーターは位置情報に関係なく、団体サポーターに所属するサポーターが申請した AED 設置情報を閲覧・編集することができます。団体サポーターによって登録された新規 AED 設置情報や、変更申請がなされた AED 設置情報は、サポーターによる承認を経て、正式な AED 設置情報として一般へ公開されます。

(ご利用にあたっての留意事項)

AED N@VI 利用規約 団体サポーター管理システム

7. 団体サポーターによる本サービスの利用は団体サポーター自身の責任で行うこと、本サービスの利用にあたり、適用法令、規則、本規約に規定される指示に違反しないことに同意するものとします。さらに、団体サポーターは本サービスの利用に関連して、法律に違反するような行動をしないことに同意します。また、意図的に不正確、誤解を招くような、又は不適切な設置情報の登録を行わないことに同意するものとします。さらに、団体サポーターは、所属するサポーターが法律に違反するような行動をしないように、また、意図的に不正確、誤解を招くような、又は不適切な設置情報の登録を行わないように管理することへ同意するものとします。
8. 団体サポーターが本規約を遵守しない場合、財団はその単独の裁量において、いつでも、かつ、予告なしに、団体サポーターの本サービスへのアクセス及び本サービスの利用を、停止又は終了することができます。

(利用環境)

9. 本サービスは、すべての利用環境に対して完全な動作を保証するものではありません。利用者の環境や利用する機器によって、一部又は全部の機能が利用できない場合もあります。
 - (1) 本サービスのご利用にあたって推奨するスマートフォン用オペレーティングシステム(以下「OS」という。)は、Android4.4 以上、iOS9.0 以上です。
 - (2) その他の OS でも正常に動作するものがあります。

(免責事項)

10. 本システムの異常に伴って生じたいかなる損害に対しても、財団はその責任を負いません。

AED N@VI 利用規約 団体サポーター管理システム

11. メンテナンスやシステム障害等の理由により、一時的にシステム提供が停止する場合がありますが、その期間において万一団体サポーターが不利益を被ったとしても、財団は一切の責任を負わないものとします。

(利用規約の同意等)

12. 本サービスの利用登録をもって、団体サポーターが本規約に同意したものとみなします。なお、本規約は必要に応じて改訂されることがあります。本規約が改訂された場合は、改訂後の内容が直ちに適用されます。

(問い合わせの制限)

13. 提供した情報についての問い合わせは、問い合わせ先を記載している場合を除き、受け付けません。

(費用)

14. 利用登録及び利用に必要な機器類は、利用者自らの費用と責任において用意をしてください。また、本サービスは無料で利用できますが、通信料は団体サポーターの負担となります。

(登録内容の変更等)

15. 団体サポーターは、いつでも登録した自身の組織に関する内容を変更し、又は登録を解除することができます。

(団体サポーターの責務)

16. 財団から発行される本システムへログインするために必要な ID 及びパスワードは、第三者に推測されないように管理しなくてはなりません。
17. 本システム上で取り扱う情報には、団体サポーターに所属するサポーターのメールアドレスが含まれます。団体サポーターは、本システムに所属するサポーターの情報を団体サポーターの責任で管理するものとし、管理シ

AED N@VI 利用規約 団体サポーター管理システム

システムの利用に際して情報漏洩が生じたとしても、財団は一切の責任を負いません。

(禁止事項)

18. 団体サポーターが次の行為をすることを禁止します。また、悪質な場合には法的措置をとる場合があります。

- (1) 登録情報を第三者に開示し、貸与し、又は譲渡する行為
- (2) 有害なコンピュータプログラムを送信し、又は書き込む行為
- (3) 本サービスの運営を妨害し、又は信用を毀損する行為
- (4) 法令、公序良俗に違反する行為又はそのおそれのある行為
- (5) 他人の権利を侵害する行為
- (6) 個人情報の漏洩に繋がるおそれのある行為
- (7) その他財団が不相当と認める行為

(プライバシーポリシー)

19. 財団は、団体サポーターの登録情報について次のとおり取り扱います。ただし、法令の規定に基づき司法機関又は他の行政機関から提供の申出があった場合は、この限りではありません。

- (ア) 団体サポーターの情報は、本サービスの運営と財団の企画する啓発イベントでの表彰目的以外には一切使用しません。ただし、本サービスの機能の改善及び向上のため、統計的な資料として利用する場合があります。
- (イ) 団体サポーターの情報は、財団が注意義務をもって管理します。
- (ウ) 財団が管理する団体サポーターの情報は、団体サポーター自身が登録した組織、担当者の名称及び連絡先に関する情報に限られ、それら

AED N@VI 利用規約 団体サポーター管理システム

は管理システム内で確認、修正が可能です。そのため、それ以上の開示請求等には応じられません。

(知的財産権)

20. 本サービス内で使用している特許権、著作権その他の権利は各権利者に帰属し、本規約によって何らかのライセンスを付与するものではありません。

(私的利用の制限)

21. 本サービスで提供される情報は、個人的かつ非営利的な目的のために利用する場合であっても、複製、使用、ダウンロードすることはできません。

変更履歴：

2018年12月12日 第1版